

平成28年度 介護支援専門員実務研修 プログラム

日程		会場	課目	時間数	目的		
1 日 目	12月26日(月)	JA・AZMホール 別館202 定員100名	8:30 ～ 9:00	受付			
	又は		9:00 ～ 9:15	開講・オリエンテーション			
12月28日(水)	JA・AZMホール 大研修室 定員200名	9:15 ～ 12:30	介護保険制度の理念・現状及 びケアマネジメント	講 義 3時間	休 憩 15分	介護保険制度の理念等を理解するとともに、地域包括ケ アシステムの構築に向けた取組の現状を理解する。 また、介護保険制度における利用者の尊厳の保持及び 自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、地域 包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を認 識する。	
		12:30 ～ 13:15	昼食休憩 45分				
2 日 目	1月8日(日) 又は 1月9日(月)	宮崎市民プラザ ギャラリー 定員150名ずつ	9:00 ～ 16:15	自立支援のためのケアマネジ メントの基本	講 義 及 演 習 6時間	休 憩 15分 ×2回	ケアマネジメントにおける相談援助の専門性を理解し、直 接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。 また、利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的 に捉える視点の必要性を理解し、利用者の自立支援に 向けた相談援助技術を修得する。
	13:15 ～ 17:35		相談援助の専門職としての基 本姿勢及び相談援助技術の 基礎	講 義 及 演 習 4時間	休 憩 10分 ×2回	ケアマネジメントにおける相談援助の専門性を理解し、直 接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。 また、利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的 に捉える視点の必要性を理解し、利用者の自立支援に 向けた相談援助技術を修得する。	
3 日 目	1月10日(火)	JA・AZMホール 別館302 定員100名	9:30 ～ 11:30	人格の尊重及び権利擁護並 びに介護支援専門員の倫理 (新)	講 義 2時間	—	人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識す る。また、介護支援専門員としての職業倫理を理解す るとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認識す る。
	11:30 ～ 12:15		昼食休憩 45分				
	又は	JA・AZMホール 大ホール 定員200名	12:15 ～ 14:15	利用者、多くの種類の専門職 等への説明及び合意(新)	講 義 及 演 習 2時間	—	利用者及びその家族に対する適切な説明と合意形成の 手法を修得する。また、サービス担当者会議、地域ケア 会議等様々な場面においても説明と合意が得られる技 術を修得する。
	14:15 ～ 14:30		休 憩 15分				
	14:30 ～ 16:30		ケアマネジメントのプロセス (新)	講 義 2時間	—	ケアマネジメントプロセスの全体像を理解する。	
	9:00 ～ 10:00		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術	講 義 及 演 習 1時間	—	受付及び初期面接相談(インテーク)、契約の各場面で求 められる実践的な技術を修得する。	
4 日 目	【県央】 1月16日(月)	シーガイア 3階瑞洋 定員120名	10:00 ～ 10:10	受付及び相談並びに契約	講 義 及 演 習 1時間	—	受付及び初期面接相談(インテーク)、契約の各場面で求 められる実践的な技術を修得する。
【県北】 1月18日(水)	クリエイティブセ ンター門川 定員40名	10:10 ～ 17:10	アセスメント及びニーズの把 握の方法	講 義 及 演 習 6時間	休 憩 15分	利用者及びその家族並びに多職種からの情報収集とそ の分析を通じて、介護支援専門員としての専門的な判断 の根拠を説明できる技術を修得する。 また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職とし てニーズを導くための技術を修得する。	
5 日 目	【県央】 1月24日(火)	シーガイア 2階ファウンテン 定員120名	9:30 ～ 14:15	居宅サービス計画等の作成	講 義 及 演 習 4時間	休 憩 45分	ニーズを踏まえた目標の設定と目標を実現するための居 宅サービス計画等の作成技術を修得する。 また、居宅サービス計画等と訪問介護計画等の個別の サービス計画との連動の重要性を理解する。
	【県北】 2月1日(水)	クリエイティブセ ンター門川 定員40名	14:15 ～ 14:25	休 憩 10分			
			14:25 ～ 16:25	サービス担当者会議の意義 及び進め方(新)	講 義 及 演 習 4時間	—	多職種とのアセスメント結果の共有や、居宅サービス計 画等の原案に対する専門的見地からの意見収集の意義 を理解し、会議の開催に係る具体的な方法を修得する。
6 日 目	【県央】 1月25日(水)	シーガイア 2階ファウンテン 定員120名	9:30 ～ 11:30	休 憩 15分			
	【県北】 2月2日(木)	クリエイティブセ ンター門川 定員40名	11:30 ～ 12:15	昼食休憩 45分			
			12:15 ～ 16:35	モニタリング及び評価	講 義 及 演 習 4時間	休 憩 10分 ×2回	ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目 的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証 する事の重要性を理解する。

7 日 目	2月3日(金)	シーガイア 3階瑞洋 定員100名	9:30 ~ 11:30	介護支援専門員に求められる マネジメント(チームマネジメン ト)(新)	講 義 及 演 習 2時間		多職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組成し、 円滑に機能させるための基本的な技術を修得する。			
	又は 2月4日(土)	JA・AZMホール 大ホール 定員200名	11:30 ~ 12:15	昼食休憩 45分						
8 日 目	2月13日(月)	JA・AZMホール 別館302 定員100名	9:30 ~ 12:45	ケアマネジメントに必要な医療 との連携及び多職種協働の 意義(新)	講 義 3時間	休憩 15分	地域包括ケアの理念を踏まえ、地域包括ケアを推進して いくに当たり介護支援専門員に求められる役割を理解す る。また、利用者を支援する上で知っておくべき各種制度 や地域の社会資源の重要性を理解する。			
	又は 2月17日(金)	JA・AZMホール 大ホール 定員200名	12:45 ~ 13:30	昼食休憩 45分						
			13:30 ~ 15:30	ケアマネジメントに係る法令等 の理解(新)	講 義 2時間			法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行でき るよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理解する。		
			15:30 ~ 15:40	休憩 10分						
			15:40 ~ 16:40	実習オリエンテーション	講 義 1時間			研修における実習の位置付けと目的、実践方法を理解 し、効果的な実習に結びつける。		
	ケアマネジメントの基礎技術に関する実習							実習現場でのケアマネジメントプロセスの経験を通じて、 実践に当たっての留意点や今後の学習課題等を認識する。		
9 日 目	3月21日(火)	県福祉総合センター 定員100名	9:00 ~ 12:15	実習振り返り	講 義 及 演 習 3時間	休憩 15分	実習を通して得られた気付きや課題を客観的に振り返り、 発表する事を通じて今後の学習課題を認識する。			
	又は 3月22日(水)	JA・AZMホール 大ホール 定員200名	12:15 ~ 13:00	昼食休憩 45分						
後 期	3月27日(月)	県福祉総合センター 定員100名	10:00 ~ 16:00	看取りに関する事例	講 義 及 演 習 5時間	昼 食 休 憩 45分 休 憩 15分	ケアマネジメントの展開 ----- 基礎理解	講 義 及 演 習 3時間	休憩 15分	ケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境など の構造的な理解に基づいて行われる必要があることを理解 する。
	又は 3月29日(水)	宮崎市民プラザ ギャラリー 定員200名								
	3月28日(火)	宮崎市民プラザ ギャラリー 定員150名ずつ	10:00 ~ 16:00	筋骨格系疾患及び廃用症候 群に関する事例			筋骨格系疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意 点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイン トを理解する。			
	又は 3月30日(木)									
	4月2日(日)	シーガイア 2階ファウンテン 定員150名ずつ	10:00 ~ 16:00	内臓の機能不全(糖尿病、高 血圧、脂質異常症、心疾患、 呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病 等)に関する事例				内臓の機能不全に係る各疾患・症候群(糖尿病、高血 圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病 等)の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏ま えた支援に当たってのポイントを理解する。		
	又は 4月9日(日)									
	4月4日(火)	シーガイア 2階ファウンテン 定員150名ずつ	10:00 ~ 16:00	脳血管疾患に関する事例				脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課 題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。		
又は 4月5日(水)										
4月10日(月)	シーガイア 2階ファウンテン 定員150名ずつ	10:00 ~ 16:00	認知症に関する事例	認知症の特性や療養上の注意点、起こりやすい課題を 踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。						
1 5 日 目	4月26日(水)	シーガイア 2階ファウンテン 定員150名ずつ	9:00 ~ 15:00	アセスメント及び居宅サービ ス計画等作成の総合演習(新)	講 義 及 演 習 5時間	昼 食 休 憩 45分 休 憩 15分	研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サー ビス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行い、 ケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める。			
	又は 4月27日(木)		15:00 ~ 15:10	休憩 10分						
			15:10 ~ 17:10	研修全体を振り返っての意見 交換会、講評及びネットワーク 作り	講 義 及 演 習 2時間		研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題 を認識し、自己研鑽の意欲を高める。 また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。			
			17:10 ~ 17:30	閉講・オリエンテーション	20分					